

# 農林水



## 個人で製造 独特の風味

東野さん  
は特区認定  
による製造

梅の栽培が盛んな山間 免許取得者の第1号。製  
集落の吉野川市美郷地 糸機械のエンジンニアとし  
区。2008年7月に全 て京都で働いていたが、  
国で初めて国の「梅酒特 定年を機に帰郷。新たな  
区」に認定され、地域住 生きがい探しと地域活性  
民が産地ならではの梅酒 化への思いから09年に免  
造りに取り組んでいる。 許を取った。

ホタルの名所として知 一般家庭で最もポピュ  
られる川田川沿いの「東 ラーな食品加工といわれ  
野リキュール製造場」で る梅酒造り。白竜峡と高  
は、東野宏一さん(68)が 越山も昔ながらの製法を  
販自ブランド2品を製造 踏襲しながら、材料の配  
販売。「白竜峡」は白ワ 合にこだわり、1本(5  
イン風のすっきりとした 00筋)2500円の高  
味わいで、「高越山」は 級品として観光客に人気  
濃厚な風味が特徴だ。 だ。酒造場での販売に限



東野さんが製造販売する梅酒  
「白竜峡」。すっきりした味わ  
いが人気—吉野川市美郷

るため「遠くから足を運  
んでくれる人がいて本当  
にありがたい。今後も飲  
む人がびっくりする酒を  
造りたい」と笑う。  
経済活性化を目的に、  
政府が地域を限って規制

を緩和する「特区」。梅  
酒特区では、酒税法で定  
められた最低製造量につ  
いて、年間6歳から1歳  
に緩和されたため、個人  
でも梅酒の製造・販売が  
容易になった。

講師から提案された梅酒  
造りに兼業農家の藤村和  
行さん(56)らが飛びつい  
た。美郷で主に栽培され  
る「鶯宿」などは酸味が  
強く、梅干しには酸っぱ  
すぎるが、梅酒にすると

味を引き立つという。  
申請作業を進めてきた  
酒事業が具体化したのは  
この2件のみ。免許取得

にかかると事務手続きの煩  
雑さや、先行投資が高齢  
化の進んだ地元農家の参  
入障壁となっている。

増やすアドバンテージに  
なる」と強調する。近  
年、美郷を訪れる観光客  
が増えており、地元物産  
館「みさと屋」の買い物  
客数は昨年2万4000  
人と開館6年で倍増。手  
作り梅干しや梅ジャムな  
どに並ぶ新たな名産に育  
て上げる方針だ。

美郷のウメ JA麻植郡美郷事業  
所によると、美郷地区では農家約50  
戸が主に「鶯宿」「南高」など4品  
種を栽培し、2009年の出荷量は33  
ト。梅加工品の問い合わせは美郷商  
工会〈電0883(43)2505〉。

# 梅酒特区

(吉野川市  
美郷地区)

特区申請のきっかけは  
07年に地元で発足した菓  
草研究会だ。この中で、  
美郷商工会の高木義夫経  
理もある。特区で梅  
酒事業が具体化したのは  
この2件のみ。免許取得  
している。